

豊能医療圏 がん医療ネットワーク協議会 活動報告

[平成29年8月2日 大阪府がん診療連携協議会 資料]

市立豊中病院

大阪大学医学部附属病院

組 織 図

豊能医療圏がん医療ネットワーク協議会

がん登録部会

緩和ケア部会

がん検診情報部会

がん地域連携部会

がん研究部会

【参加団体】

- ◆ 医師会
- ◆ 保健所
- ◆ 市町がん検診担当課
- ◆ ホスピス・在宅診療所
- ◆ がん診療拠点病院

がん登録部会

【部会活動のメインテーマ】 網羅的で精度の高いがん登録を実施する。

〔平成29年度 活動目標〕

1. 胃がんの院内がん登録データを用いた現状分析

- ▶ 院内がん登録データから、住所、進行度や治療内容等のベンチマークを作成し、自施設の登録状況の把握と豊能医療圏での胃がんの現状について比較し分析を行う。

2. 院内がん登録の精度管理

- ▶ 全国がん登録に対応した精度管理を行うために各施設連携し情報を共有する。

緩和ケア部会

【部会活動のメインテーマ】 緩和ケアの普及を図る。

〔平成29年度 活動目標〕

1.緩和ケアにかかる地域医療機関との連携強化

- 大阪府がん緩和地域連携パスの試行実施を行い、拠点病院側と連携先の意見を府緩和ケア部会へフィードバックする。
- 地域連携を目的とした研修や会合などに相互に参加する。

2.緩和ケア研修会の受講促進

- 受講対象者の把握と各施設の開催予定や受講促進の取り組みを情報共有する。

3.緩和ケアの普及促進

- 緩和ケアに係る医療者向け研修会を各病院で開催する。(府補助事業を活用)

4.患者及び家族が心の悩みや体験談を語り合う場の提供

- がん拠点病院主催のがんサロンの開催情報を集約した一覧ポスターにより患者・家族への周知に努める。

がん検診情報部会

【部会活動のメインテーマ】

がんに関する情報の普及、がん検診の受診率向上に取り組む。

〔平成29年度 活動目標〕

1. がん教育の推進

- 児童生徒向け出前授業・教職員向けがん研修について、検診担当課から教育委員会に働きかけを行い、各市町の有用な取り組み事例について情報共有を図る。
- がん教育のための教材については、大阪府が実施する各市町教職員向け研修のテキスト等の情報を収集し、教育のポイントを押さえ各拠点病院の医師を中心に検討を進める。

2. がん手術件数の定義の統一化

- がん手術件数のカウントについて、平成29年度に編成したワーキンググループのメンバーで課題の洗い出しと解決に向けた取り組みを進める。

3. 平成30年度がん医療公開講座の企画

- 平成30年度の実施に向け、実行委員会を編成し今年度秋までにテーマ・講師等具体的に企画を進める。

がん地域連携部会

- 【部会活動のメインテーマ】 地域連携によるがん医療の充実を図る。

〔平成29年度 活動目標〕

1. セカンドオピニオンチーム

- セカンドオピニオンを広く知ってもらうため、周知方法を検討する。
 - セカンドオピニオンの依頼元病院等のデータを収集し、どこの地域からの依頼が多いかなど分析する。
 - 協議会ホームページと併行して、各病院のホームページを活用する。

2. リハビリテーションチーム

- がんリハビリテーションに関する医療従事者向け講演会を実施し、がんリハビリテーションの啓発を行う。（府補助事業を活用）

がん研究部会

(1) 小児がん対策

● 小児がん診療に関わる医療機関ネットワークの構築

阪大病院は、大阪府内のがん診療連携拠点病院等と連携し小児がん患者の診療に取り組んでいる。特に骨軟部腫瘍、脳腫瘍、網膜芽細胞腫、肝移植の必要な肝芽腫については大阪府内から患者が集積しており、小児科、小児外科、眼科、整形外科、脳神経外科が連携して治療にあっている。また、近畿若手小児血液クラブを組織し、若手医師の教育も行なっている。小児がん経験者のための長期フォローアップ外来にも力をいれており、がんになっても一生を通じて質の高い生活を送ることができるように多職種による支援をおこなっている。

(2) 骨髄移植および臍帯血移植の推進

● 骨髄移植および臍帯血移植の現状

造血幹細胞移植の件数は年間平均27件（直近3年）である。移植の幹細胞ソースとしては血縁、骨髄バンク、臍帯血のすべてに対応している。特に骨髄バンクからの移植が多く6割を占めている。

(3) がん研究の推進

● 多施設臨床研究の推進（特定非営利活動法人SCCRE（エスキュール））

がん臨床研究を実施する7つの研究会（消化器がん、乳がん、肺がん、泌尿器系がん、骨髄腫等）を支援している。

● 臨床研究中核病院

平成27年8月に臨床研究中核病院の認定を受けた。質の高い臨床研究支援のために更に未来医療開発部を整備する。

がん研究部会

(4) 高度先進医療の推進

● 以下の先進医療を現在実施中である

1. 腹腔鏡下広汎子宮全摘術（先進医療 A）
2. パクリタキセル静脈内投与及びカルボプラチン腹腔内投与の併用療法（先進医療 B）
3. 術期カルペリチド静脈内投与による再発抑制療法（先進医療 B）
4. 11C 標識メチオニンを用いたポジトロン断層撮影による再発の診断 頭頸部腫瘍（先進医療 B）
5. 放射線照射前に大量メトトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法（先進医療 B）
6. 11C 標識メチオニンを用いたポジトロン断層撮影による診断 初発の神経膠腫が疑われるもの（先進医療 B）
7. 急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定（先進医療 B）
8. 術前のS-1内服投与、シスプラチン静脈内投与及びトラスツズマブ静脈内投与の併用療法（先進医療 B）
9. テモゾロミド用量強化療法 初発時の初期治療後に再発又は増悪した膠芽腫

(5) 人材育成

● がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン（大学院）

17コースで101名が在学中（薬物療法、放射線治療、緩和医療、外科治療、放射線物理、細胞診、がん看護等）